

ダヴィット・フリクリ 《ピアニスト》

David Khrikuli

2001年ジョージア生まれのピアニスト、ダヴィット・フリクリは、同世代で最も魅力あるピアニストの一人として急速に頭角を現している。複数の国際コンクールで優勝、技巧の卓越性と深い芸術性、そして洗練された音色を兼ね備えており、ヨーロッパ各地で高い評価を得ている。2024年カントゥ国際ピアノ・オーケストラ・コンクール（イタリア）で第1位、ビーゴ国際ピアノ・コンクール（スペイン）で第1位および聴衆賞を受賞。2025年ショパン国際ピアノ・コンクールではファイナリストになり、その演奏は審査員と聴衆を共に魅了、コンテストの結果を超えた

称賛を集めた。過去の栄誉には、オーフス国際コンクール（デンマーク）での第1位および特別賞、トビリシ国際ショパン・ピアノ・コンクール（ジョージア）で第1位の他、くるみ割り人形国際テレビ・コンクール（ロシア）、アスタナ・ピアノ・コンクール（カザフスタン）、アルトゥール・ルービンシュタイン国際若手ピアニスト・コンクール（中国）での受賞歴がある。

彼はトビリシのザカリア・パリアシヴィリ中央音楽学校でレヴァス・タヴァゼのもとでピアノの勉強を始め、その後マドリードのソフィア王妃高等音楽院でガリーナ・エギアザロワとスタニスラフ・ユデニチに師事。ハイメ・カステリャノス財団とアルベニス財団から奨学金を受け、サンタンデル銀行ピアノ財団のピアニストを務め、2022年にはソフィア王妃から最優秀学生賞を授与された。

彼はこれまでジョージア・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・カメラータ、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団と共演、さらにヨーロッパ各地でリサイタル、室内楽公演も行っています。ソフィア音楽院ではマドリードの“La Generación Ascendente”やアルバセテの“AlEnRUta-Clásicos”などのコンサート・サイクルに参加し、シューマン・トリオ、ラヴェル・デュオ、オーストリアス・トリオとも共演している。

現在、彼はヨーロッパにおいて公演活動をしており、2026/2027シーズンには、韓国、中国、日本、そしてアメリカの複数の都市でのデビュー公演が予定されている。

表現豊かな音色、洗練された技巧、そして年齢を超えた芸術の成熟度を持つ彼は、同世代で最も著名なピアニストの一人としての地位を確立しつつある。

<https://davidkhrikuli.com>

David Khrikuli

FAZIOLI

過去に目を向け
現在に集中し
未来を夢見る

ファツィオリジャパン株式会社
www.fazioli.co.jp

